

一校一貢献についての取組

三原市立宮浦中学校

宮浦中学校では毎年6月、保護者と地域の人と共に校区内の清掃活動を行っています。今年で19年目を迎えています。今年も6月2日（日）に全校生徒が保護者や地域の方と一しょに、自分の住んでいる地域をきれいにしました。開会式と閉会式は生徒が司会や挨拶をするなど、生徒が中心となって運営しました。事後のアンケートでは97%の生徒が活動に参加してよかったと思いい、91%の生徒が今後地域のために何かできることをしたいと答えていました。



この長年続く活動を核にして、「郷土を愛し、郷土に貢献できる生徒」を育成するために、積極的にボランティア活動への参加を促す取組を行っています。生徒に紹介しているボランティア活動の多くは以前から参加しているものです。今年度参加したものを紹介します。

1 さつき祭りボランティア【令和元年5月25日（土）】

5月25日（土）26日（日）に宮浦中学校区にある三原市芸術文化センター「ポポロ」周辺を会場としてさつき祭りが開催され、今回初めて宮浦中学校の生徒24名がボランティアとして参加しました。主にゲームコーナーの運営の補助を行いました。



2 626ヤング街頭キャンペーンボランティア【令和元年7月7日（日）】

広島県薬物乱用防止指導員尾三地区協議会から、フジグラン三原において薬物乱用防止を呼び掛けるボランティアの案内があり、今回初めて29名の生徒が参加しました。啓発パンフレットやティッシュの配付やクイズラリー参加の呼びかけを行いました。



3 やっさ祭り事前清掃【令和元年8月9日（金）】

三原市公立中学校生徒会連合会の主催で、本校から27名の生徒が清掃ボランティアに参加しました。やっさ祭りへ向けて、午前中にイベント会場付近を中心に清掃活動を行いました。

4 子どもやっさ参加【令和元年8月9日（金）】

第44回三原やっさ祭り初日にあつた子どもやっさに30名の生徒が出演しました。宮浦中学校は毎年、三原市内中学校で唯一「宮中伝説」チームとして出演しています。やっさ祭りに出演することを通して生徒たちは感動を味わい、郷土である「三原」を愛する心が高まったと考えます。



宮浦中学校では今後も「西野川清掃ボランティア」「ロシア舞踊団観光ボランティア」「西小とんどボランティア」などの取組を行います。